

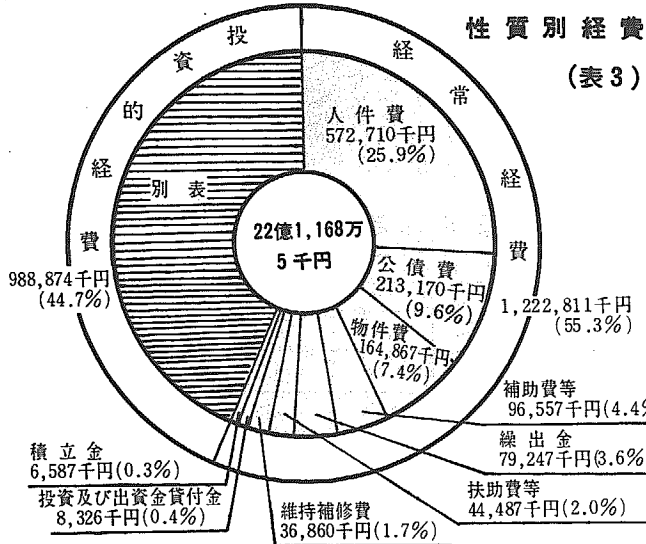
60年3月完成した小杉保育園

よこし村の

昭和59年度 一般会計決算

〈表2〉 歳出22億1,168万5千円

議会費	55,129千円 (2.5%)	その他	113,326千円
商工費	39,960千円 (1.8%)	衛生費	178,628千円
消防費	22,395千円 (1.0%)	教育費	209,124千円
諸支出金	7,831千円 (0.4%)	公債費	269,380千円
労働費	644千円 (0%)	農林水産業費	281,720千円
		土木費	341,243千円
		民生費	692,305千円
		総務費	692,305千円



(別表)

おもな投資的経費

- 役場庁舎建設、ガードレール設置 490,351千円
- 防犯灯新設、小杉保育園建設 121,461千円
- 農道整備事業、かんばい事業、土地改良総合整備事業、農村総合整備モデル事業 188,874千円
- 商工会館建設補助 22,500千円
- 小阿賀橋架替事業、道路改良整備、水路改良工事、地盤沈下対策事業 150,223千円
- 消防ポンプ格納庫建設工事、消防ポンプ購入、消火栓移設工事 2,165千円
- 小学校暖房用温水機取付工事、仮設柔剣道場新築工事、北校舎窓枠サッシ取替工事 13,090千円
- その他 210千円

昭和59年度に村がした借金 (3億480万円)

総務債	1億3,140万円	庁舎建設
土木債	6,560万円	道路・橋梁、生活環境衛生施設
農業債	5,870万円	農村総合整備モデル事業、農業施設
民生債	4,910万円	小杉保育園建設

○村民一人当たりの納めた税金 (前年度対比四・〇%増) 五九、四一九円

○村民一人当たりの使ったお金 (前年度対比一六・六%増) 二四五、五五二円

○村民一人当たりの借金残高 (前年度対比一一・九%増) 一九四、六七八円

○村の財産 (前年度対比一一・九%増) 二二四、六〇二㎡

・建物 二五、一九七㎡

・土地 一九七、四〇五㎡

・出資金 四、七七八千円

納期のお知らせ

今月は、国民年金保険料第五期の納期です。一月三十一日までに忘れず納めましょう。

○犯人は 人相、服装、車のナンバーや色、逃走など。

○あなたは 氏名、住所、電話番号

※「一〇番」は警察本部通信指令室に直接つながります。

1月10日は110番の日です

一〇番は地域のみなさんと警察を結び、また事件事故などの各種事案を早期解決する糸口です。そこで、警察では、みなさんから一〇番通報を積極的に利用していただくために、本年から毎年一月一〇日を「一〇番の日」としましたのでお知らせします。

「見たら聞いたら一〇番」みなさんの積極的な協力(一〇番通報)をお願いします。

【正しい一〇番のかけ方】

何が 強盗、けんか、交通事故など

いつ 何分前 ○時〇分

どこで △時△分までの間

○どこで 発生場所、近くの目標物など

家計簿

7,180万円の繰越

〈表1〉 歳入22億8,348万6千円

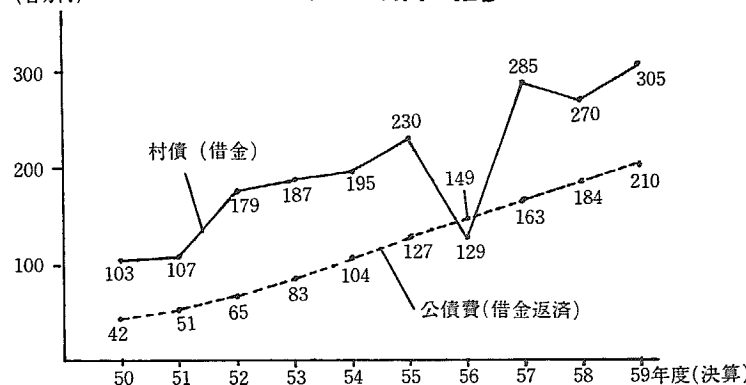
自主財源	450%
依存財源	550%
村税	535,186千円 (23.4%)
繰入金	198,314千円 (8.7%)
その他	294,647千円 (12.9%)
地方交付税	631,608千円 (27.7%)
村債	140,485千円 (6.2%)
県支出金	111,896千円 (4.9%)
国庫支出金	66,033千円 (2.9%)
その他	66,033千円 (2.9%)

十二月定例議会で、昭和五十九年度の決算が認定されました。みなさんが納めた税金がどのように使われたか。村の財政はどうか。昭和五十九年度の決算のあらましを紹介します。



60年4月から業務開始した新庁舎

村の借金及び借金返済高の推移



【説明】

黒字決算だが 単年度収支では赤字

昭和五十九年度当初予算は、前年度対比一三・七%増の二億四、五〇〇万円、①役場庁舎建設(第二年度)の推進 ②小杉保育園の建設 ③農村総合モデル事業、下水道事業の推進 ④小阿賀橋架替及び取付道路の整備促進 ⑤新農業構造改善事業の推進 ⑥商工業の育成強化(会館建設助成)などを重点施策としてスタートしました。

その後、十一回の補正を行い決算額で、入ったお金(歳入)は、二億八、三四八万六千円、出たお金(歳出)は、二億一、一六八万五千円、一八〇万一千円の黒字となりました。

しかし、この黒字は前年度からの多額の繰り越しと、財政調整基金の取り崩しなどがあったため、実質単年度収支においては、二ヶ年にわたる庁舎建設や小杉保育園建設などの大規模事業があり、六、四六四万円の赤字となっています。

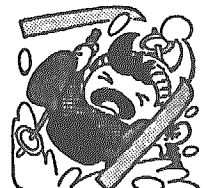
村に入ったお金をみますと(表1)、村民税など自分の村で確保できるお金(自主財源)は四五・〇%、これに対して、地方交付税や村の事業に対する国の補助金等、それに借金(村債)など依頼財源は、五五・〇%となっています。

この中でも、借金が全体の二三・三%にもなり、借金をしなければ行政運営ができないという苦しい地方財政の実情にあります。現在の借金残高は、一七億五、三四六万円にのぼり、村民一人当たり一九万五千円、これらの借金をしている勘定となり、苦しい村の台所といえます。

村から出たお金の状況は、(表2)庁舎建設のあった総務費が三一・三%、小杉保育園建設のあった民生費が一五・四%、小阿賀橋架替及び取付道路の整備等があった土木費が一・七%と続いています。

また、性質別経費(表3)をみますと、職員等の人件費や物件費などの経常的経費が全体の五五・〇%、庁舎建設、道路改良など投資的経費が前年より九・四%多い四四・七%となっています。おもな内容については、(別表)を参照ください。

村民スキー教室



参加者募集

1月26日 五日町 スキー場

とき 1月26日(日) 五日町スキー場

参加費 一般・高校生三、五〇〇円 小・中学生三、〇〇〇円 幼児一、五〇〇円(交通費、食事代含む。幼児の食事代は含まれません)

定員 八〇名

申し込み 1月14日まで 横越村公民館へ

地区	日	時	場所
横越・小杉	一月十六日(木)	午前8:30-12:00	横越村役場 多目的ホール
藤山・駒込		午後1:00-5:00	
沢海・木津	一月十七日(金)		
二本木			